

	9月1日現在	前月比
男	14,023	+35
女	14,189	+22
計	28,212	+57
世帯数	6,171	+5



笑顔で筑波山登山

心身障害児の「太陽のつどい」

町社会福祉協議会主催の「太陽のつどい」が、8月23日ボランティア活動者の協力を得て、心身障害児が社会生活になじみ、すこやかに成長することを願って、町内の障害児とその家族が参加して初めて実施されました。

予定では、筑波山登山と霞ヶ浦遊覧をすることになっていましたが、あいにくの強風で船が欠航のため、霞ヶ浦遊覧ができず残念がっていました。

でも、普段こういう機会が少なく、筑波山は初めてという子も多く、登った喜びも格別のように、笑顔で歩く姿はたいへんうれしそうでした。

今月号のごあんない

お年寄りにしあわせを.....	2・3 P
八郷町長寿者番付.....	4 P
みんなの公民館（オアシス運動）.....	5 P
あなたのスナップ.....	
写真サロン、明るい窓.....	6 P
ぼくらのクラブ活動、健康メモ.....	7 P
文化財散歩、やさと文芸.....	8 P

気をつけて、あなたの子どもも通る道

柿岡中3年
橋本やよい

上記の作品は、町交通安全教師の会によって募集された交通安全標語のうち、最優秀作品に選ばれたものです。

お年寄りにしあわせを

明るく健康で生きがいのある老後のために

先頃、厚生省がまとめた昭和五十一年簡易生命表により、本人の平均寿命は、昨年も順調に延び女性は七十七歳、男性は七十二歳に達しました。これによりわが国も、世界のトップクラスの長寿国となり、急速に高齢化社会に向っているといわれており、老人問題は国民的課題となっております。そこで、国や地方公共団体の老人福祉に対する努力はもろろん、ひとりひとりが老人問題を自分の問題として考え、協力していくことが大切ではないでしょうか。

九月十五日の敬老の日を機会に、長年にわたって社会に貢献してきたお年寄りを敬い長寿を祝うとともに、まだまだ十分ではありませんが、国や県・町で行っている老人福祉の施策の一部を紹介してみよう。

◎ 国民年金

〈老齢年金〉一定期間保険料を納めた方が六十五歳になったときに支給されるもので、五年、十年、二十五年年金などがあります。五年年金に加入した方には年額一九万六千九百円、十年年金に加入した方には二六万九千五百円が支給されています。

〈老齢福祉年金〉明治四十四年四月一日以前に生まれた方が七十歳になったとき、年額一八万円が支給されます。



いたわりを

一人くらしの老人には
みんなて声をかけま
しょう

◎ 老人医療費の支給

七十歳以上の老人と、六十五歳以上のねたきり老人の医療費はすべて無料です。

町には、この制度の対象になる方が八月三十一日現在で二千

百八人います。

昨年は何らかの病気やケガで、一人平均約九回受診し、医療費は五千八百八千円となっております。この医療費は国や県、町で全額負担しています。

◎ 老人居室整備資金の貸付

町では、お年寄りと家族との好ましい家族関係の維持に役立てることを目的として、お年寄りの専用居室を自力で増築、または改築することが困難な方に、必要な資金の貸し付けを昨年からは行って、昨年は二件の貸し付けを行い、今年も三件が決定しています。

貸し付け限度額は、昨年より八万円増額され八〇万円です。貸し付けを受ける場合の条件など、くわしい点についてのお

赤いざぶとんと祝金

一ことしも五二六名の方に



町では、9月15日の敬老の日にあたり、町内の満80歳以上のお年寄り526名に、長寿を祝って赤いざぶとんと敬老祝金(5千円)を贈りました。

また、県からも88歳以上のお年寄り69名に対して、祝金(3千円)が贈られました。

写真は、町長から赤いざぶとんと祝金を贈られる町の最高齢者の石田せき(99歳)さんです。

◎ 家庭奉仕員の派遣

ねたきり老人や身障者のお世話をする人たちで、町には現在四名の方が活躍しています。

お世話を受けている老人が二十三名、身障者が二名おり、家庭奉仕員は巡回して、身の回りや部屋のそうじ、買物などのお世話をしています。

◎ 老人無料健康診査

病気であっても、自覚症状が乏しいお年寄りの健康を守ると

いう目的から、町では六十五歳以上の方を対象に、無料で健康診査を実施しています。

なお、今年十月に行う予定ですが、ねたきりの方で健康診査を受けたい場合は、医師が家庭を訪問して行うこともできますので、福祉課へ申し込んでください。

◎ 老人福祉電話

ひとり暮らしのお年寄りのために、県内で最初に町で老人家庭に架設したこの電話も、現在は十七台に増え、今年も三台の架設を予定しています。

◎特殊寝台の貸出

町では、ねたきり老人の介護がしやすいよう、また、畳や床がいたまないように、無料でベットの貸し出しをしています。

このベットは、ハンドル操作で上半身やひざが起き上がるようになっているので、食事や介護にも便利と喜ばれています。

現在、町には二十台設備され十七台が貸し出されています。

◎老人クラブの助成

町では、お年寄りに明るく楽しく過していただくため、老人クラブの育成に力を入れていきます。

〈単位老人クラブ〉

町には四十一の単位老人クラブがあり、会員はあわせて二、三三八人おります。このクラブ



片野・金指地区の老人クラブの人たちによって植えられたカンナが、今年もきれいな花を咲かせています。

では、お年寄りの教育の向上、健康の増進、レクリエーションなどを行い、クラブ活動を活発に行っていたり、ため、町は二四六万円（単位クラブ平均六万円）の助成をしています。

〈百寿会連合会〉

単位老人クラブが適合したもので、単位クラブではできない老人大学や人生学院の運営、老人芸能発表会や作品展の開催、囲碁・将棋大会の開催など大きな事業をしています。

町では、この連合会に二一五万円の助成をしています。

◎老人大学

人生学院の開講

〈老人大学〉

町の老人大学は、県内で一番早く、東京よりも早い昭和三十七年五月一日に開講されました。

講座は、毎月二回で講義や研修旅行、町議会傍聴などが行われ、半年で卒業です。今年の七月に第二十七期生が卒業し、これまでの卒業生は一、二九八名



老人大学で若返り体操をするお年寄り

になりました。

現在、第二十八期生五九名が在学しており、「元気に若返り、明るく豊かな生活」をめざして学習しています。

この老人大学に入学するには、各地区の老人クラブの会長さんの推薦が必要で、申し込みが多く競争率が高いそうです。

〈人生学院〉

老人大学を卒業すると、人生学院に入学する資格ができます。昭和三十八年に発足したこの学院は、毎月二十日が定例の開講日で、現在まで一回も休まず開講しています。

人生学院に卒業はなく、一生涯の勉強をモットーに、老人向け教養を中心とした講義が主に行われています。

現在、九〇歳の方をはじめ約八〇〇名の方が在籍し学習に励んでいます。

◎所得税の特典

社会福祉を充実する一方お年寄りに対して、税金の面でも特典が設けられています。

〈本人が受けられる特典〉

- ① 年齢が六十五歳以上で所得金額が一千万円以下の方は、
- ② 公的年金や恩給は、給与所得として課税の対象となりますが、お年寄りが受ける年金や

恩給は、老後の生活の保障という点で一般の人が受ける給料とは性質が異なり、老年者年金特別控除として収入金額から七八万円が控除できます。

したがってその年の収入が、公的年金や恩給だけのお年寄りは、最低一八〇万円までは所得税がかかりません。

〈お年寄りを扶養している人が受けられる特典〉

収入が公的年金や恩給だけで一四八万円以下の七〇歳以上のお年寄りを扶養している方は、一般の扶養控除より六万円多い三五万円の控除が受けられます。

お年寄りを敬い長寿を祝し

町内七地区で敬老会



柿岡地区敬老会の余興の1コマ

九月十五日の敬老の日、地区公民館と婦人会の人たちによって、お年寄りの長寿を祝う敬老会が町内七地区で開かれました。

招待を受けたのは、七〇歳以上のお年寄り二、一九六名の人たちです。集まったお年寄りは、お茶やごちそうがだされたり、余興として婦人会の人たちの歌や踊りなども披露されて、楽しくなごやかなひとときを過ぎました。

地域ぐるみの心のふれあいを

町PTA連協から

全町へ呼びかけ



オアシス運動

心の中に呼びもどそうとはじめられたものです。

有明地区
四校PTA が口火きる

いままで、あまり知られていなかった「オアシス運動」がPTAからの盛り上がりで、いま町じゅうにひろがりをみせています。

この運動は、最近の社会が、めざましい科学の進歩によって物質万能の風潮をつくりあげ、人間にとって大切な心の存在を忘れさせ、「無味乾燥な砂漠のような家庭や地域社会になってしまふのでは」との心配から、オアシスのようなうるおいを、

オアシス運動は、五月十二日に開かれた有明地区PTA連絡協議会（小・中、四校PTAで結成）で生徒指導の議案を審議した際に出されたもので、それが発端となり、その後回か実施方策等が練られました。

その結果、学校では生徒に直接細かい指導をする一方、ポスターと趣意書がつけられ、各家庭へ配布、家族ぐるみ地域ぐるみの運動が展開されました。

いつでも どこでも
はつきりと

オ おはようございます
ア ありがとうございます
シ しつれいしました
ス すみません

六月になって、八郷町PTA連絡協議会総会が開かれた際に有明地区から「オアシス運動」についての提案があり、万場一致で町全域で推進することが可決されました。

現在、PTA連絡協議会では、オアシス運動が形式に流れたりお題目に終ったりしないように芦穂・園部小学校で具体的

な実践の場の設定方策について研究がすすめられています。また、この運動を全家庭、全町民に理解していただくためにチラシや看板をつくるのが計画されています。

豊かな人間性の青少年を

オ…おはようございます（きょう一日の出会いを大切に）
ア…ありがとうございます（すべてに感謝の心を）
シ…しつれいしました（謙虚な姿勢）
ス…すみません（人間尊重）

オアシスは乾燥地帯にあつて泉・井戸・河川などで水が容易に得られるところであり、古代都市国家や古代文明の発祥地となり、現在でも隊商の休息地やいこいの地となっています。

意義深い「オアシス」を頭文字にとり、この心を生かし、こゝとばで態度で日常生活のあらゆる場面であらわそうというものです。

そうすることによって、家庭や地域の間関係を円滑にし、ひいては将来の日本を背負う青少年が、豊かな人間性を身につけたりつばな国民になることを期待しています。

12月18日に町民マラソン
家族ぐるみで参加を
町では、体育協会と青年団の協力を得て、十二月十八日に町民マラソン大会を開催します。

このマラソン大会は、町民のみなさんが自分の能力に応じたコースを選んで、家族ぐるみで参加できるようAコース（二キロメートル）、Bコース（五キロメートル）、Cコース（一〇キロメートル）の三コースで行いますので、ふるってご参加ください。

なお、くわしいことのお問合せや参加申し込みは、社会教育課（電話三〇二七三）へ。

あなたのスナップ

夏！暑さ！子どもは水が大好き
写真は、自宅庭の家庭用プールで
大喜びの満1歳になった敏行です。

撮影年月日 昭和52年7月24日



「夏のおもいで」
撮影者 桜井幸雄
(小幡・33歳)

園部小チームがみごと優勝

新治郡子供会球技大会

8月21日、出島村の南中学校で新治郡子供会球技大会が行われ、町代表の園部小学校がソフトボールでみごと優勝しました。また、瓦会小学校もよく健闘し3位になりました。

写真は、優勝トロフィーを受ける園部小学校の選手代表たち



ハチが群がるデツカアイ菓

中戸の吉田茂さん宅の軒下に直径約四〇センチのスズメバチの巣ができ、ハチがブンブン群がり近所の話題になっていきます。この巣は六月頃からつくられみるみるうちに大きくなつたということです。



循環器二次検診

町では、ことしから四〇〜六十四歳の方の循環器検診を行っています。第一次検診で異常が認められた柿岡・芦穂(吉生を除く)・林地区の方を対象に、九月六日、八郷公民館で初めての二次検診を行いました。



仲よく手をとりあって

板敷山大覚寺で「親子のつどい」

去る8月17日、町内の中学1年生の親子を対象に、親と子の心のふれあいを強め明るい家庭づくりに役立てようと「親子のつどい」が、板敷山大覚寺で開催されました。

「親子のつどい」は、社会福祉協議会の主催で開催されたもので、31組の親子が参加し、話し合いや講話のほかレクリエーションも行われ、なごやかな雰囲気で行われました。

成人病の早期発見と早期治療に、これから通知を受けた方は受診するように努めましょう。

長寿を祝い

記念写真をプレゼント



九月十五日の「敬老の日」、全日本写真連盟八郷支部(代表太岐口泰順他二十三名)では、柿岡・恋瀬・瓦会・林地区の最高齢者の男女にそれぞれ記念写真をプレゼントしました。写真は、額に入ったカラー写真でとってもらったものです。お年寄りへの記念写真のプレゼントは、写真連盟の人たちによつて十五年間も続けられており、たいへん喜ばれています。



水泳に町新記録で

このたび、町内の小学生の水泳記録会が、柿岡小・恋瀬小・小桜小の三校で行われ、各種目

役場に花、花、花...

役場の窓口にきれいな菊の花が飾られ喜ばれています。

この菊は、下林のやささと花卉組合(倉持義盛組合長)が丹精こめて栽培した約500本を寄付下さったものです。



に町新記録が生まれました。このうち種目別で一位になった児童には、ライオンズクラブから記念のトロフィーが贈られた。

ぼくらの クラブ活動

柿岡小学校「器楽クラブ」



器楽クラブには、私たちほとんどの人が、希望をして入りました。だからクラブの時間にはとても熱が入り、みんな一生懸命にやっています。
今、みんなで「瀬戸の花嫁」という曲を演奏しています。でも、美しい音、正しいリズムをとるのが、とてもむずかしいので、みんな教えたり、教えてもらったりして練習しています。

か男子は入部してくれませんが、本日は歌手でも器楽でも男も女もいるので、たくさん男子の人もほしいのです。ぜひ来年はたくさんの方が入部するように願っています。
また今まで、先ばいたちが残してくれた立派な伝統をひきついで、発表会や音楽会にすばらしい前で前をひろうしたいと、今みんなはりきってがんばっています。

その中でも、とてもうれしいことは、二十四名の中にすばらしい男子二名が入部していることです。なかなか

最後に器楽クラブとして、学校やPTAのおじさんをお願いしたいことがあります。それは、練習は一生けん命しているのですが、楽器の種類がいろいろなので、例えばアルト笛とかソプラノの笛というのがほしいのです。お金のことなのですが、いえないと思いますか？
たくさんさんの楽器で、大人数ですばらしい大演奏や発表会をすることを夢みています。
(部長 六年三輪洋子)

本校の器楽クラブは、四年生から六年生までの女子二十二名と男子二名の部員から成り立っています。
毎週一回、部長を中心にみんなが協力し合い、お互いの個性を十分生かしながら、創造的に、楽しく楽器を演奏したりすることができるようがんばっています。

曲や楽器の選び方には苦労しますが、演奏し終えた時の喜びは格別です。目下、発表会をめざして、奮闘中です。
今年からは、合奏ばかりでなく、名曲をレコードで鑑賞し、自分達の演奏と比較し合うことも計画の中に入れてみました。
(担当 須藤寿美先生)

保健婦の健康メモ

一歳六ヶ月児の健康診査

幼児初期は、身体の発育や精神の成長が盛んですから、歩行やことばなどの発達するようすが容易にわかります。
そこで、成長期である一歳六ヶ月のときに健康診査を受けることにより、運動機能・

梅酒カン

柿岡 大沢 たか



わたしの家でも、六月号で紹介された桜井さんのように、毎年梅酒と梅ジュースをかかさずつくっています。
夏は、この梅酒や梅ジュースを使って寄せものをつくりたいです。甘ずっぱい冷たい梅酒カンは大人たちに、梅ジュースカンは子どもたちに大変うけています。
お客様には、桜の葉につつんでさしあげますと、ちよつとして



たお茶受けになります。
△材料▽ 水五カップ、梅酒又は梅ジュース一カップ、寒天三本、さとう四〇〇グラム、塩少々、みかん缶大一缶。
△作り方▽
(1)寒天はほぐしてよく洗い、やわらかくなるまで水につけ、五カップの水で煮ときます。
(2)とけたころ、さとう、梅酒又は梅ジュース、塩少々を入れて火をとめ、器に流して少しかたまつたところに、缶づめのみかんを散らします。

視聴覚等の障害及び精神発達の遅滞障害などをもつた幼児を早期に発見もできますので、適切な指導を行うことで、心身障害の進行を未然に防止できることとなります。

この一歳六ヶ月の健康診査では、また、生活習慣の自立、虫歯の予防、幼児の栄養などの保健指導のほか育児指導もいたします。

乳幼児の健康診査は、これまでに乳児及び三歳児などを対象に実施されてきましたが、更に乳幼児の保健管理の充実をはかるため、一歳六ヶ月児の健康診査が実施されることになったものです。

町でもすでに実施されていますが、この健康診査は乳幼児には大切な検診でもありますので、幼児の健康の保持及び増進をはかるためにも、通知を受けたときは機会をのがさず、ぜひ受診されますようおすすめていたします。

- ＜健康診査の指導事項は＞
- 身体の発育及び栄養状況
 - 身体の疾病及び異常の有無
 - 歯の疾病及び異常の有無
 - 行動発達、言語発達の状況及び異常の有無
 - 予防接種の実施状況
 - その他育児上問題となる事項（生活習慣の自立、社会性の発達、しつけ、食事など）

文化財散歩

〔県指定天然記念物〕

佐久の大杉

佐久部落には、頭部は枯れてなくなつてしまつたが幹の回りが八、九メートルもある大きな杉の木があります。
この杉の木は、鹿島神社の境内にあつて、昔から神社の神木として大杉様といわれ信仰の対象となつていましたが、数回の落雷などのため枯死が近いといわれているのが残念です。

指定年月日 昭和16年3月31日



行政相談週間

十月十六日〜二十二日

皆さん、行政（国や県や市町村などの役所が扱っている仕事）法律・困りごとの相談、国に対する意見や要望は、行政相談委員にいつでも気軽に申し出てくだい。

町では、行政管理庁長官から行政相談委員の委嘱を受けた部の原の真家耕三さん（電話三二二四二五）が、皆さんからの相談を受けて助言したり、関係行政機関に連絡したりして解決にあつています。
行政相談週間にあたり、十月二十一日午前九時から三時まで八郷公民館で、心ばいごと相談

とあわせ行政相談所を開設しますので、相談のある方はこの機会を有効にご利用ください。

役場庁内案内板を設置

町では、このたび役場庁舎の玄関右側に、庁内案内板を設置しました。
これによつて、いまままでわかりづらかつた各課の配置や、そこで取扱われている主な仕事の

内容が一目でわかります。はじめは役場においでの方など、庁舎内がわからないときはご覧になつて下さい。



やまと文芸

短歌

吉田次郎 選

手の平を歩みて命光りる螢無言に放ちやりたり
大増 青木 祥太
ねえちゃんはこのに居るよと幼児は写真の棺指さして云ふ
細谷 金沢 翠柳
を筑波も秋に入るなりぼつつりと浮かぶ白雲静かに流る
東山崎 荒井 岳山

俳句

滝田玉水 選

月見草月出づる頃濡れてをり
大増 青木 村莊
新涼の人水色のシャツ纏ふ
細谷 金沢 翠柳
郷に来て秋の味覚に親しめり
新月

俚謡

大木嶺月 選

笑顔優しく迎える母があつて嬉しい里帰る
下林 佐藤美まつ
巡る盃いつしか酔うて下戸も重ねた月見酒
川又 川又 鬼城
孫の寝顔がニコニコ笑う夢で乳房を吸う仕ぐさ
瓦谷 路川長老子

暮らしの知識

ガス台の

まわりの油汚れ

油汚れには、ホコリが付着しやすいばかりか、これに熱気が加わると樹脂化してしまい、ネットになって、拭いたくらいでは取れなくなります。

ガス台のまわりを常に清潔に保つコツは、調理が終わったらガス台が暖かいうちにレンジや汚れた壁面をさつとひと拭きすること。これに優る方法はありません。そのため、いつも手近かに紙やボロ布を用意しておきましょう。

▼ガスレンジの汚れ

こびりついている汚れは、スチールウールにクレンジャーをつけてこすり取ります。ガス穴はパーナーブラシで。ゴムホースもよく拭いておきましょう。調味料がしみ込んだホースをネズミがかり、ガスもれ事故を起こした例もあります。

▼ガスオーブンの汚れ

市販のアルカリ性洗剤がアンモニアを、庫内にぬくもりが残っているうちに塗り、翌朝拭き取ります。